

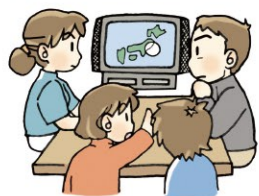
洪水に備える

洪水などの水害が発生してからでは遅いので、事前にしっかりチェックしておきましょう!!

雨が降っている中での避難は視界も悪く危険です。足元などに十分注意して避難しましょう。

1 最新情報を入手する

雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオなどに注意し、最新の災害情報の入手に努めましょう。



2 避難場所を確認

避難する前に、ガス、電気、火種を消し、避難場所を確認するとともに、万一途中で家族が離れなれたときの集合場所を決めておきましょう。



3 早めの避難

避難警戒レベルを元に自主的に早めの避難を。



4 避難の指示

避難の指示は危険が迫ったときに出されますので、すみやかに避難しましょう。避難の時は、警察署・消防署・地元の責任者などの指示に従いましょう。



5 安全な避難

避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは、土砂災害の恐れがあるので注意しましょう。



6 避難に遅れたら

万一避難に遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。



雨と風の【危険度】チェック

●一時間雨量の目安

【やや強い雨】 (10~20mm) ザーザーと降り、地面からの跳ね返りで足元がぬれる。一面に水たまりができる。	【強い雨】 (20~30mm) どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。車のワイパーを速くしても見づら。	【激しい雨】 (30~50mm) バケツをひっくり返したように降り、道路が川ようになる。	【非常に強い雨】 (50~80mm) 滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は役に立たない。車の運転は危険。	【猛烈な雨】 (80mm以上) 息苦しくなるような圧迫感がある。あたり一面が白っぽく視界が悪くなる。
--	---	---	--	---

●風と被害の目安 ※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。

【やや強い風】 (風速10~15m/s) 風に向かって歩きにくくなる。樹木全体や電線が揺れ始める。	【強い風】 (風速15~20m/s) 電線が鳴り、看板やトタン板が外れ始める。高所の作業は危険。	【非常に強い風】 (風速20~30m/s) 何かにつかまらないと立っていられなくなる。飛来物によって負傷するおそれあり、屋外での行動は極めて危険。細い木の幹が折れたり、看板が落下・飛散する。	【猛烈な風】 (風速30m/s以上) 樹木や電柱、街灯が倒れる。走行中のトラックが横転する。
--	---	--	---

避難警戒レベル

災害時にとるべき行動を、5段階の「警戒レベル」でお知らせします。

災害などで発令される避難警戒レベル情報

災害の危険度	警戒レベル	住民がとるべき避難行動
高	5 災害発生 又は切迫	雄武町が発令 緊急安全確保
~<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>~		
4	災害のおそれ高い	雄武町が発令 避難指示
3	災害のおそれあり	雄武町が発令 高齢者等避難
2	気象状況悪化	気象庁が発表 大雨・洪水・高潮注意報
低	1 今後気象状況悪化のおそれ	気象庁が発表 早期注意情報

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってははいけません!

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3 高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしもレベル1から順に発令されるとは限りません。

警戒レベル5 緊急安全確保が発令された場合

これまで経験したことのないような、危険が差し迫った異常な状況にあります
ただちに**「命を守る行動」**をとってください!

大雨時の早期避難の判断ポイント

●事前の経路確認と早めの避難

実際に避難経路を歩き、安全で避難しやすい経路と所要時間を確認しましょう。実際に避難する際は、できるだけ浸水が始まる前に余裕をもって避難しましょう。



●浸水が始まる前に避難

自分が住んでいる地域や近くの川の上流で、豪雨や長雨が続けている場合は要注意です。特に、高齢者や障がいのある方など避難に時間がかかる方は、早めに避難することが大切です。



●暗くなる前に避難

大雨が予想される時は、明るいうちに避難しましょう。暗くなってからの避難は視界も悪く、陥没している道路や側溝などに気づかない場合があります。

